

9月の気象予報

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	気 温	降 水 量	日照時間
高い(多い)	30	30	40
平 年 並	50	30	30
低い(少ない)	20	40	30

(平成19年8月24日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

地点別の平年値

要 素	平均気温()	最高気温()	最低気温()	降水量(mm)	日照時間(h)
沖縄群島(那覇)	27.2	29.9	25.1	200.3	196.6
宮古群島(宮古島)	27.1	29.9	24.9	203.9	193.0
八重山群島(石垣島)	27.7	30.5	25.5	227.7	203.6

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

9月の発生予報概要

作 物	病 害 虫 名	発 生 量		
		沖縄群島	宮古群島	八重山群島
水稻(2期作)	葉いもち	-	-	並
タンカン	かいよう病	やや多	-	-

その他注意すべき病害虫等

本文中では (白丸)にて表記

作 物	病 害 虫 名 等	地 域
水稻(2期作)	斑点米カメムシ類	八重山群島
さとうきび	イナゴ類	宮古群島
マンゴー	栄養生長期の病害虫防除対策	宮古群島
にがうり(施設)	タバココナジラミ(シルバーリーフコナジラミ)	沖縄群島
なす(露地)	タバココナジラミ(シルバーリーフコナジラミ)	沖縄群島

施設野菜の育苗時における病害虫防除対策について

施設野菜の育苗時における健全苗の確保は、本圃への病害虫持ち込み防止に極めて重要です。

1 育苗時に発生するおもな病害虫

作物名	害虫名	病害名
にがうり、きゅうり、すいか、 メロン、とうがん等のウリ科作物	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ ハモグリバエ類 コナジラミ類	苗立枯病
なす、ピーマン		
トマト	アブラムシ類 ハモグリバエ類 コナジラミ類	ウイルス病

2 防除対策

- (1)床土
 - ・新土もしくはクワロルピクリン等で消毒済みの土壌を用い、苗立枯病やハモグリバエ類の発生を予防する。
- (2)種子
 - ・殺菌剤の粉衣や浸漬等を行う。
 - ・にがうり種子の採取は、つる割病の発生した圃場では行わない。
- (3)害虫の侵入防止
 - ・苗は施設内で管理し、防虫ネット等でウイルス媒介虫のアブラムシ類、ミナミキイロアザミウマやタバココナジラミなどの侵入を防ぐ。また、侵入が確認されたときは、適宜薬剤散布を行う。
 - ・購入苗も施設内で保管・管理し、定植まで害虫の発生に気を付ける。
- (4)その他
 - ・ウリ類つる割病、トマト萎ちょう病、なす半身萎ちょう病などの土壌病害の発生が本圃で懸念される場合は、接木苗を用いる。

施設野菜の病害虫防除対策について

冬春期の施設野菜の植付けが始まります。病害虫の発生を抑え、健全な作物を栽培するため、適切な防除対策が必要です。

1 冬春期の施設野菜に発生する主な病害虫

作物名	害虫名	病害名
にがうり、きゅうり、すいか、 メロン、とうがん等のウリ科作物	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ ハモグリバエ類 コナジラミ類	ウイルス病 菌核病 うどんこ病
なす、ピーマン	ハスモンヨトウ チャノホコリダニ ハダニ類	
トマト	アブラムシ類 ハモグリバエ類 コナジラミ類 ハスモンヨトウ チャノホコリダニ トマトサビダニ	
さやいんげん	インゲンモグリバエ ハモグリバエ類 ハダニ類 コナジラミ類 ハスモンヨトウ チャノホコリダニ	さび病 菌核病 うどんこ病

2 防除対策

健全な苗を植付け、以下のことに留意する。

(1) 虫害

- ・多発すると防除が困難になるので、早期発見・早期防除に努める。
- ・摘葉や摘芯後の残渣は発生源になるので、ビニール袋等に入れるなどして、圃場外に持ち出し処分する。
- ・破れたビニールやネットの補修を行う。
- ・圃場内や周辺雑草は発生源になるので除草を行う。
- ・同系統の薬剤の連用は害虫の抵抗性が発達しやすいので避ける。

(2) 病害

ア うどんこ病、さび病、菌核病等

- ・窒素過多を避け適正な肥培管理を行う。
- ・排水を良くし、換気に気を付ける。
- ・菌核病では病果や病枝は早期発見に努め、除去する。

イ ウイルス病

- ・発病株は早期発見に努め、抜き取り処分する。
- ・媒介虫(アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ、タバココナジラミ)の防除を徹底する。
- ・ハサミや手の消毒、洗浄を行う。
- ・施設の出入口・天窗・側窓には防虫ネット等を張るとともに、はかまや裾のビニールをしっかり留め媒介虫の侵入防止を図る。また、出入口には2重カーテンを設置する。

トマト黄化葉巻病(TYLCV)の防除対策について

トマト黄化葉巻病(TYLCV)は、タバココナジラミ(シルバーリーフコナジラミ)によって媒介されるウイルス病で、罹病すると上位葉の黄化、葉巻、萎縮等の病徴が現れます。また、感染が速く、特に栽培初期に感染すると、収穫が皆無となる恐れがあります。本病は、沖縄県では今年1月に初確認され、現在14市町村に拡大しています。トマトの作付け時期を迎え、トマト黄化葉巻病による被害が懸念されます。栽培初期の防除を徹底し、被害を最小限に食い止めましょう。

1 栽培初期の防除

- ・感染が疑われる苗は使用しない。
- ・防虫ネット等が張られた施設内で苗の管理を行う。
- ・黄色粘着板等でタバココナジラミの発生確認と防除を行う。
- ・UVカットフィルムの展張、反射シートの施設周辺設置でタバココナジラミの侵入を防止する。
- ・苗に粒剤を施用し、タバココナジラミの発生を抑える。
- ・感染株は早急に抜き取り、ビニール袋等で必ず密封処分する。

2 タバココナジラミの防除

- ・施設の開口部には目合いの細かい防虫ネットを使用する。特に出入口には前室を設置、もしくは2重カーテンをする。
- ・タバココナジラミの発生源となる施設内外の雑草の除去を行う。
- ・黄色粘着板等で発生確認と防除を行う。
- ・UVカットフィルムの展張、反射シートの施設周辺設置で侵入を防止する。
- ・登録薬剤による防除を行う。

3 野良生えトマトの除去

- ・施設内外の管理されていない野良生えトマトは、TYLCVの感染源・タバココナジラミの発生源となるので、抜き取って密封処分する。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

本 所	〒902-0072 那覇市字真地123 TEL 098-886-3880、098-886-0227 FAX 098-884-9119
北 部 駐 在	〒905-0012 名護市名護4605-3(農業研究センター名護支所内) TEL 0980-51-1537 FAX 0980-51-1538
宮 古 駐 在	〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40 TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474
八 重 山 駐 在	〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6 TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157